

令和 3 年 度(第 1 9 期) 活 動 報 告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

① はじめに

スサノオの風は、平成15年6月に設立されて以来、19年が経過しました。昨年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各種イベント・会議等が自粛され、スサノオホール大ホール・佐田スポーツセンターの利用者の減少傾向が引き継ぎました。

法人としては、コロナ禍であっても感染症対策を取りながらイベント等の実施に心がけてきました。特に文化庁 JAPAN LIVE YELL project 事業として、瀬戸内サーカスファクトリー公演、若村麻由美公演に取組み、佐田地域内外から高い評価を得ました。この事業により、島根県民会館、日本芸能実演家団体協議会(通称：芸団協)との連携が深まったことは、今後の文化振興の力になると思います。

人口減少が続く佐田地域において法人の設立目的である佐田地域の文化・スポーツの融合により地域活性化を図っていく事を基調としながら、中山間地域振興、情報発信など新たな事業を加え、法人力の向上に努めてきました。これらの活動が評価され、県内外でスサノオの風の名を広めたと考えています。

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」(出雲市財産)の老朽・狭隘化、通所者の確保の観点から(社福)やまゆりが所有する八幡原通所跡を令和3年12月から賃貸借契約を締結し使用しています。やまびこ園の移転は、令和4年6月を計画しています。

また、佐田自治協会「佐田地域戦略会議」「小さな拠点・雇用創出部会」の事務局を昨年度に引き続き受託し、主として「さだ未来ビジョン」の策定作業に取り組んできました。

財政面では、事業量は増加し事業収益約5800万円となりましたが、中山間地域振興部門での留保の取り崩しがあり、経常費用約5830万円となり、増収減益となりました。

社員雇用面では、パート社員2名(体育館、やまびこ園)の退職、正規社員2名(本部、やまびこ園)を令和3年4月1日から採用しました。

若者力が法人運営を支えてくれていることに感謝します。

② 基幹会議

1) 令和3年度社員総会

□開催日 令和3年6月28日(月)午後6時から

□開催場所 スサノオホール 視聴覚室

□出席者 51名(うち書面表決者 38名) 会員総数 73名

- 提出議案
 - ・令和2年度活動報告、令和2年度活動計算書の承認について
 - ・令和3年度活動計画(案)、令和3年度活動予算書(案)について
 - ・定款の一部変更(案)について
 - ・令和3年度役員報酬額(案)について
 - ・字句の一部修正の委任について

2) 理事会

【第1回理事会】

- 開催日 令和3年5月21日(金)午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 2階会議室
- 出席者 8名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・令和3年度総会提出議案について
 - ・佐田自治協会「小さな拠点・雇用創出部会」及び「佐田地域戦略会議」事務局の受託について
 - ・(社福)やまゆり所有「八幡原通所」施設借入について

【第2回理事会】

- 開催日 令和3年6月17日(木)午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 視聴覚室
- 出席者 8名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・(社福)やまゆり所有「八幡原通所」施設借入中止及び協議会の設置について
 - ・定款の一部改正について
 - ・文化庁アートキャラバン事業の受託について
 - ・令和3年度通常総会について
 - ・夏季賞与の支給について

【第3回理事会】

- 開催日 令和3年9月24日(金)午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 7名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・給与規程の一部改正について
 - ・(社福)やまゆり所有「八幡原通所」施設借入について

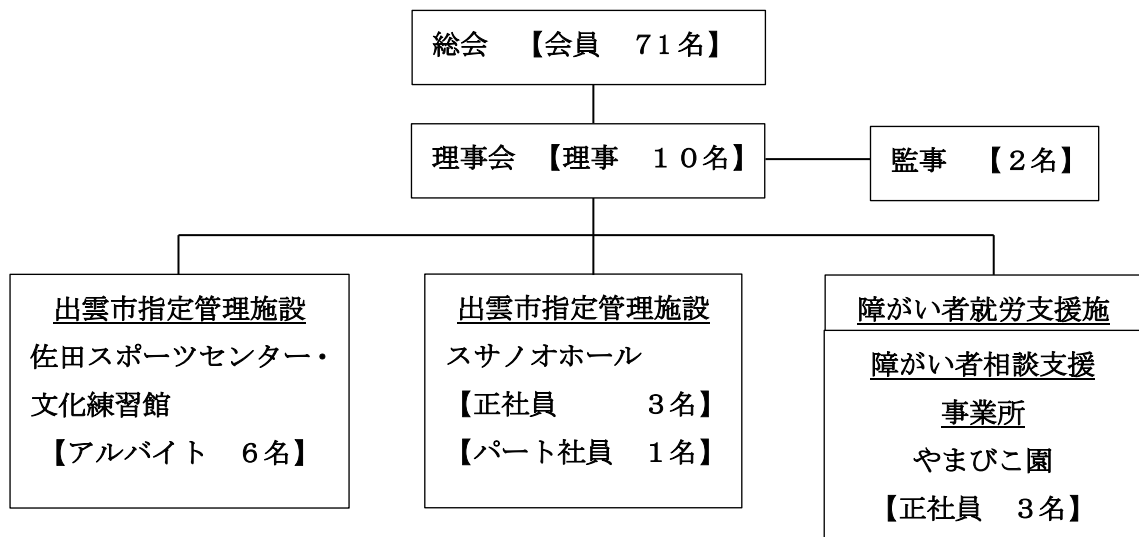
【第4回理事会】

- 開催日 令和3年11月24日(水)午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 9名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・(社福)やまゆり所有「八幡原通所」施設借入契約書(案)について
 - ・冬季賞与の支給について

【第5回理事会】

- 開催日 令和4年3月10日(木)午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 2階会議室
- 出席者 10名 理事総数 10名 (書面表決)
- 提出議案
 - ・令和4年度社員体制について
 - ・令和4年度活動計画について
 - ・令和4年度予算案について
 - ・令和4年度人件費について
 - ・令和4年度理事長報酬額について
 - ・給与規程の一部改正について
 - ・通勤手当増額の特例について
 - ・スサノオホール舞台技術年間委託料について

組織体制(令和4年3月31日現在)



★令和3年度中の社員の推移

- ・令和3年4月1日現在社員数 8名
- ・令和3年度中退職社員数 2名
- ・令和3年度中採用社員数 2名
- ・令和3年度末社員数 7名

※社員は、パート社員を含む。

③ 各部門の事業概要

【スサノオホール】

スサノオホールは佐田地域の文化振興の拠点としての役割を担うため、これまでも利用率の向上を目指し管理運営に尽力してきました。昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、活動停滞する団体も多い中、コロナ対策を講じ柔軟な発想をもって新たな企画にも取り組んできました。昨年度に引き続き、文化庁主催「JAPAN LIVE YELL project」及び島根県民会館地域ステージ事業を担うなど、他団体とも連携し文化振興に努めてきました。その一方で、施設の老朽化（空調設備・トイレ）、漏水などの新たな問題も発生し、今後、継続的な利用を確保していくためにも、出雲市との協議連携、管理運営に一層力を入れていくことを再認識しました。

令和3年度の自主事業は次のとおりです。

① 坂田美子公演「琵琶で旅する耳感旅行 vol.2」

実施期日 令和3年8月17日（火） 18時30分から20時30分

実施内容 佐田町に残る「日本最古の鬼退治伝説」を題材に、演劇×琵琶の新たな物語を創作し公演を行なった。公演にあわせ観劇ツアーと、チャリティのための動画配信を行った。また、写真展「スサノオ人」を同時開催した。

来場者数 97名、動画配信 50名

※動画の収益は「2021 島根県東部水害支援基金」へ全額寄付

② 落語へ行こう！桂歌蔵独演会 in 佐田

実施期日 令和3年10月10日（日） 14時から15時

実施内容 幅広い世代に落語を身近に感じてもらうことを目的に、さだのちいなマーケット cotaba と同時開催した。

来場者数 60名

③ クリスマス謎解きゲーム ～消えたサンタクロースのなぞ～

実施期日 令和3年12月25日（土） 10時から16時

実施内容 スサノオホール全館を使用した謎解きゲーム。佐田町やホールに関する出題で、佐田に興味関心を持ってもらうことを目的に開催した。

来場者数 77名 22組

④ SADA OUTDOOR THEATER ～星空の下の社会的距離(リ-ソールデ ィスタンス)～

実施期日 令和4年3月20日（日） 18時30分から20時30分

実施内容 スサノオホール壁面に巨大スクリーンを設置し、野外シアターを開催した。

来場者数 26名

⑤ 市民のアート展

1) 写真展「豆の一生」

期間 令和3年4月6日(火)から6月30日(水) 来場者数 448人

2) 高嶋敏展写真展「戦争のてざわり」

期間 7月28日(水)から8月15日(日) 来場者数 361人

3) 写真展「スサノオ人-びと-」

期間 8月17日(火)から10月10日(日) 来場者数 446人

4) 須田郡司写真展「3.11 東日本大震災から10年の軌跡」

期間 令和4年3月4日(金)から3月13日(日) 来場者数 189人

※写真展にあわせ「アトムof庭」上映会を行った。(来場者数 107人)

⑥ さだのちいさなマーケット cotaba

実施期間 毎月第2日曜日(8、1、2月は休止。3月はコロナにより中止)

実施内容 飲食や雑貨等の出店。無償送迎「コタバス」の運行や「さだブース」を設置。
佐田地域の文化団体や音楽活動をする方などミニステージを開催した。

来場者数 1,975人(出店者、関係者、スタッフ含む)

⑦ ARスタンプラリーさだモン

実施期間 令和3年6月20日(日)、8月8日(日)から9月26日(日)

実施内容 佐田町内10か所に潜む“さだモン”を携帯アプリで探索し、さだモンから
出題される佐田町にまつわるクイズに答えスタンプを集めると、佐田町内で
使用できる金券やグッズと交換ができる、周遊型ARスタンプラリー。

“さだモン”のキャラクターとクイズを考えるワークショップも開催した。

参加者数 61名(26端末)、ワークショップ 10名

⑧ (共同事業) 若村麻由美の劇世界「曾根崎心中」

実施期日 令和4年1月15日(土) 14時から15時30分

実施内容 文化庁主催「JAPAN LIVE YELL project」及び島根県民会館地域ステージ
事業。俳優若村麻由美による原文語り芝居。公演にあわせ観劇ツアーも実施。

来場者数 166名

⑨ (後援事業) 民謡大響演・佐田神楽共演大会

実施期日 令和3年12月5日(日) 9時30分から16時30分

実施内容 佐田町民謡連合会創立30周年記念事業・佐田神楽連合会主催事業に対し
後援を行った。

来場者数 554名(民謡)、316名(神楽)

★スサノオホール

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和3年度	6,538	134	1,080,448
令和2年度	2,900	94	1,351,074
令和元年度	6,810	150	1,085,341
対前年比	3,638	40	△270,626

【佐田スポーツセンター・文化練習館】

平成27年3月策定の「出雲市公共施設のあり方指針」で、佐田スポーツセンターは、利用動向を勘案しながら「廃止・使用中止」も視野に検討をしていくと公表されて以降、若者を中心に存続意識が高まってきました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響もあり、大会の中止や、通

常利用の減少がありましたが、少人数での利用は少しずつではありますが、増加傾向にあります。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響は続くと予想されますが、感染予防対策をし、積極的に自主事業を計画・実行するとともに、施設の老朽化や佐田地域の高齢化、昼間利用の減少などの課題に取り組み、年間利用 10,000 人を目指します。

文化練習館は、例年、さだ須佐太鼓、むらくも座の練習会場、民間団体の研修会場として利用されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、練習も休止となり、全体的に利用が大幅に減少しました。定期的に安心して利用していただけるよう、感染予防対策など環境を整え、利用の増加を図っていきます。

令和3年度の自主事業は次のとおりです。

① 100円で遊ぶDAY

実施期間 毎月第1土曜日 9時から17時

※6月から実施。1.2月は冬季のため実施なし

実施内容 体育館利用を増やすことを目的とした、1人100円で何時間でも遊べる開放日。多くの人に利用してもらうために、占有利用はできないなどルールを設けた。

来場者数 141名

② さだっこ見守りサマースクール

実施期間 令和3年7月26日(月)から8月6日(金)

8時30分から17時30分

実施内容 夏休み期間中の小・中学生を対象に無料のサマースクールを実施した。冷房の効いた室内で夏休みの宿題をしたり、卓球場で遊ぶなど、主に見守りを目的として行った。

来場者数 39名 計8回

③ (共同事業) 瀬戸内サーカスファクトリー・出雲佐田公演「希望のサーカス」

実施期日 令和3年10月24日(日) 16時から18時

実施内容 文化庁主催「JAPAN LIVE YELL project」及び島根県民会館地域ステージ事業。体育館アリーナ内で「現代サーカス」を開催した。

来場者数 332名、ワークショップ 9名

★体育館・グラウンド

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和3年度	5,628	578	1,061,386
内 体育館	4,194	501	739,656
令和2年度	4,536	430	758,545
内 体育館	3,513	361	538,705
令和元年度	9,196	529	834,847
対前年比	1,092	148	302,841

★文化練習館

年度	利用人数（人）	利用回数（回）	利用料金（円）
令和3年度	981	66	102,616
令和2年度	463	46	38,100
令和元年度	3,070	137	144,122
対前年比	518	20	64,516

【障がい者福祉事業】

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、ナカバヤシなどの軽作業量は安定的にありますが、利用者の減少により年々運営は厳しくなっています。工賃の向上と通所者確保のためにも、八幡原施設での新たな取組みが期待されます。

【中山間地域振興事業】

佐田自治協会「さだ未来ビジョン」策定の決定を受け、「佐田地域戦略会議」「小さな拠点・雇用創出部会」など策定に関する事務局を担当しました。新型コロナウイルス感染症の影響により会議等ままならない状況もありましたが、地区公聴会をはじめ、佐田中学生の発表や様々な方面から意見を集約し、令和4年3月に「さだ未来ビジョン」冊子版と掲示板が完成しました。

【第3種旅行業】

We Love 山陰キャンペーンを活用し、スサノオホールの公演にあわせ、島根県内から参加者を募り、佐田町内を巡る観劇ツアーを実施しました。その他、町内団体の旅行の手配を行いました。

- ・本当に旅する耳感旅行 15名 (8/17実施)
- ・若村麻由美観劇ツアー 25名 (1/15実施)

【助成金・補助金事業】

今年度も各種助成金・補助金を受け様々な事業を実施しました。

*佐田がんばる塾

実施期間 令和3年10月1日から令和4年3月31日

※事業実施期間：令和4年9月30日まで

実施内容 人財育成を目的とした講座。テーマごとにゲストスピーカーを招聘し、参加者との交流を図る。

参加人数 67名（計3回）

*さだ暮らしサポート事業（通称：さだサポ）

実施期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日

実施内容 佐田町内の生活困りごと支援を目的とし実施。

- ・お墓掃除代行サービス
- ・空き家管理サービス

- ・さだっこ見守りサマースクール
- ・さだ情報ステーション（サダイズム）の開設

*誰もが集える心地よい場所づくりプロジェクト

実施期間 令和3年12月1日から令和4年3月31日

実施内容 八幡原通所施設跡を気軽に人が集まる、交流・学びの場にするために、しまね社会貢献基金クラウドファンディングモデル型事業で寄付を募り、施設の整備（室内・駐車場・畑）、備品購入等に充てた。また、コロナの影響によりオープンイベントは4月に延期となった。施設名はアンケートの結果「結-ゆい-」に決定した。

【その他の事業】

- ★佐田町文化協会事務局、出雲市体育協会佐田支部の事務局を担い、各種事業の支援を行いました。
- ★法人のPR誌「風のたより」の季刊発行、ホームページ、SNS、チラシを活用し法人の啓発に努めました。
- ★昨年度に引き続き出雲観光協会から、鷺浦ゆめの森うさぎ野外シアターの依頼を受けましたが、新型コロナウイルスの蔓延により中止となりました。
- ★出雲市から委託を受けているレンタサイクル事業は、106台の貸出を行いました。コロナ以降減少傾向にありましたが、旅行客の戻りもあり令和元年度に近づく実績となりました。
- ★今年度も朝日たたら管理を実施しました。来場者数は21人でした。
- ★関係人口アドバイザー派遣事業を活用し、事業サポートをしていただきました。
- ★佐田中学校職場体験学習で1名の生徒の受け入れをしました。

（3年度助成金・補助金・寄付金等）

・コロナ過におけるNPO緊急支援事業補助金	401,000円
・出雲メセナ協会財政支援事業助成金	250,000円
・しまね社会貢献基金活動支援金	100,000円
・YS市庭コミュニティー財団助成金	600,000円
・特定休職者雇用開発助成金	300,000円
・クラウドファンディング	354,444円
・その他の寄付金	17,500円
計	2,022,944円

令和3年度 活動の様子



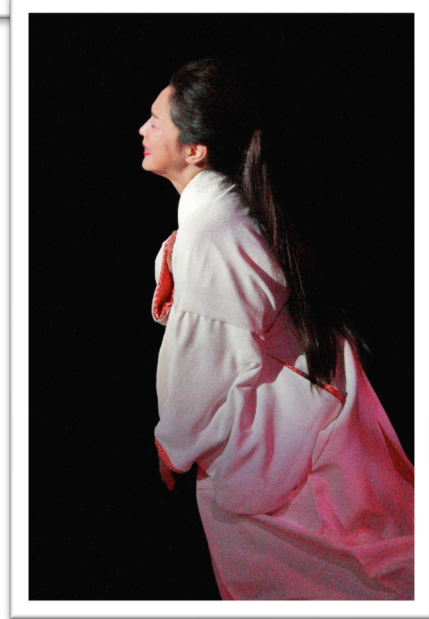
◀佐田スポーツセンターで初めての現代サーカス公演。満員御礼。高さ10メートルの地点から一気に落下してくる迫力に息を飲みました。



▲▼スサノオホールは文化事業が目白押しでした。



◀サンタさんからのお手紙の内容は……？



③ 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
①文化、芸術、福祉の向上に関する事業の普及と宣伝	「文化団体活動支援」 佐田町文化協会の事務局を担当した。	通年	スサノオホール	2名	380名	200
②文化、芸術、福祉の向上に関する事業の企画及び実施	「坂田美子公演・琵琶で旅する耳感旅行vol. 2」 佐田町に残る「日本最古の鬼退治伝説」を題材に琵琶と演劇の創作公演を実施した。	R3.8.17	スサノオホール	7名	147名	987
	「鷺浦ゆめの森うさぎ野外シアター」 出雲観光協会の委託、新型コロナウイルス感染症のため中止となり、実施できなかった。	R3.8.22	うさぎ森林公園	2名	0名	1
	「落語へ行こう！桂歌麿独演会in佐田」 落語家桂歌麿氏による独演会を実施した。さだのちいさなマーケットcotabaと同時開催した。	R3.10.10	スサノオホール	5名	60名	251
	「クリスマス謎解きゲーム ～消えたサンタクロースのなぜ～」 スサノオホール全館を使用した謎解きゲームを実施した。	R3.12.25	スサノオホール	10名	77名	200
	「SADA OUTDOOR THEATER ～星空の下の社会的距離～」 スサノオホール壁面に巨大スクリーンを設置し、野外シアターを実施した。	R4.3.20	スサノオホール	10名	26名	155
	「島根県民会館 地域ステージ事業を共催」 文化庁主催「JAPAN LIVE YELL project」共催事業として、瀬戸内サーカスファクトリー「希望のサーカス」、若村麻由美の劇世界「曾根崎心中」公演を実施した。	R3.10.24 R4.1.15	佐田スポーツセンター スサノオホール	8名	507名	6,009
	「タイルクラフト教室」 スサノオごっこいまつりが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、実施できなかった。					
「市民のアート展」 展示に伴い、公演や上映会を実施した。・写真展「豆の一生」・高嶋敏展写真展「戦争のてざわり」・写真展「スサノオ人」・須田郡司写真展「3.11東日本大震災から10年の軌跡」	R3.4.6～ R4.3.13	スサノオホール	2名	1,551人	32	
③文化芸術活動での各種講演会等への講師派遣	今年度は実施しなかった。					
④社会教育、まちづくり及び子どもの健全育成等を目的とした事業への援助及び協力	「佐田地区青少年育成協議会事業への協力」 佐田地区青少年育成協議会が実施する活動に協力した。	通年	佐田地区内	1名	200名	0
⑤スポーツの推進を目的とした事業の企画及び実施	「出雲市体育協会佐田支部の活動支援」 出雲市体育協会佐田支部の事務局を担当した。新型コロナウイルス感染症の関係でほとんどの事業が中止になった。	通年	佐田地区内	2名	3,000人	150
	「100円で遊ぶDAY」 毎月第1土曜日1人100円で体育館を使用できる開放日。6月から実施した。(1.2月は未実施)	R3.6.5～ R4.3.5	佐田スポーツセンター	2名	141名	50
⑥スポーツの振興を目的とした各種講習会等への講師派遣	今年度は実施しなかった。					
⑦障害福祉サービス事業	「就労継続支援施設 やまびこ園の運営」 精神・知的・身体障がい者を対象とした就労継続支援施設「やまびこ園」の運営を実施した。	通年	やまびこ園	5名	10名	14,010
⑧相談支援事業	「障がい者相談支援事業」 障がい者の生活支援、福祉サービス利用等の相談業務を実施した。また、出雲市の委託を受け、障がい程度区分認定調査業務を実施した。	通年	佐田町内	2名	50名	879
⑨高齢者の介護予防、生活支援に関する事業の企画及び実施	今年度は実施しなかった。					

⑩健康づくり及び介護予防を目的とした各種の研修会等への講師派遣	「スローエアロビック事業」 今年度は実施しなかった。					
⑪スサノオホール、佐田スポーツセンター等公立施設の管理運営業務の受託	「指定管理業務の受託」 スサノオホール、佐田スポーツセンターの指定管理業務を実施した。	通年	スサノオホール・佐田スポーツセンター・文化練習館	11名	13,147人	30,465
⑫佐田地域の集落・団体支援及び研修事業等の企画及び実施	「小さな拠点づくり中間支援業務」 佐田自治協会の佐田地域戦略会議及び専門部会（小さな拠点・雇用創出）の事務局を担った。	通年	スサノオホール ほか	4名	32名	1,086
	「さだラボ」 吉栗の郷において第2回さだラボフォーラムを実施。「さだ未来ビジョン」策定に伴い連携を図った。	R3.6.27	スサノオホール ほか	5名	60名	0
	「さだ暮らしサポート事業」 地域の課題解決のために、お墓掃除代行サービス、さだっこ見守りサマースクール、さだの情報ポータルサイト「サダイズム」の開設など実施した。	R3.4.1～ R4.3.31	佐田スポーツセンター ほか	4名	3,000人	404
	「佐田がんばる塾」 ゲストスピーカーを招聘し、参加者との交流を図る人材育成講座を実施した。	R3.10.1～ R4.3.31	文化練習館 ほか	5名	67名	238
	「八幡原通所施設跡 結の開設」 気軽に人が集まれる、交流・学びの場づくりとしてクラウドファンディングで資金を募り「結」を開設。施設の整備等を実施した。	R3.12.1～ R4.3.31	結	8名	8名	517
⑬旅行業法に基づく旅行業事業	「第3種旅行業 スサノオの風」 We Love山陰キャンペーンを活用し、観劇ツアーを実施した。また、町内団体の旅行の手配を行った。	通年	スサノオホール ほか	2名	56名	651
⑭ツーリズムの企画立案と実施事業	「ARスタンプラリーさだモン」 佐田町内に潜む“さだモン”を見つけ出し、クイズに答えてスタンプを集めると佐田町内で使えるクーポン等と交換できる周遊型ARスタンプラリーを実施した。	R3.6.20～ R3.9.26	スサノオホール ほか	5名	61名	159
⑮地域関連グッズ等の商品開発及び販売事業	「さだのちいさなマーケットcotaba」 毎月1回、佐田町内外から出店者を募りマーケットを開催した。（8.1.2.3月は中止）ミニコンサートも併せて実施した。	通年	スサノオホール ほか	5名	1,975人	113
⑯その他この法人の目的を達成するために必要な事業	「広報活動」 季刊で広報誌「風のたより」の発行。ホームページ・SNSを運用した。	通年	佐田地域全域	4名	3,000人	131

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
イベント各種のチケット販売	出雲市民会館主催「スーパー神楽2021」のチケットを委託販売した。	R3. 11. 29	スサノオホール	2名	31名	0